総務文教常任委員会記録

平成31年2月4日

【開催日】 平成31年2月4日

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午前10時~午前11時18分

【出席委員】

委	員	長	河	野	朋	子	副	委	員	長	伊	場		勇
委		員	笹	木	慶	之	委			員	髙	松	秀	樹
委		員	長名	川名	知	司	委			員	宮	本	政	宗
委		員	森	Щ	喜	久								

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議長	小 野	泰副	議長	矢 田	松夫
----	-----	----	----	-----	----

【執行部出席者】

教育長	宮	内	茂	則	教育部長	尾	Щ	邦	澎
学校教育課長	111	輪	孝	行	学校教育課指導係長	升	谷	哲	也

【事務局出席者】

事務局長	中 村 聡	議事係長	中	村	潤之介
------	-------	------	---	---	-----

【審査内容】

1 所管事務調査 学校司書について

午前10時 開会

【会議の概要】

- ・学校司書について、方針変更があるということで、学校司書の評価あるいは 今後どのようにそれを変えていこうとしているのかを調査した。調査に当た り、三輪学校教育課長から、以下のとおり現状と平成32年度以降の方針に ついての説明があった。
- ・学校図書館は各学校に一人配置を数年続けたおかげで充実してきた一方、外 国語活動、外国語科は、平成32年度から小学校で完全実施であるが、他市

町と比較するとALTの任用状況は大きく水を開けられている。

- ・教育委員会は、市内の小中学校に公教育を進めていく立場にあり、学校図書館、図書館教育も一つの分野ではあるが、教科指導、情報教育、環境教育といった分野も提供していく必要がある。
- ・働き方改革については、学校業務支援員の任用状況が他市町ではどんどん進められているが、今年度は本市ではまだゼロという状況。月の長時間勤務も 目安の45時間大きく超えている。
- ・そうしたもろもろの分野で、平均以上の部分と大きな課題の部分があるという状況を鑑み、学校司書については充実をしてきているので、これをそのまま維持・発展させることのみではなく、子供たちにとっての様々な可能性を見出すべくALTの任用を増やすことにより外国語活動の充実を図るため、見直しを図るべきと判断し、平成32年度からは2校兼務ということで進めていく方針とした。

【主な質疑】

髙松秀樹委員 学校司書の総人員と今年度の総予算は幾らか。

- 三輪学校教育課長 基本的には各校一人ずつであるが、厚陽小・中学校と平成 32年度からの小中一貫を見据え埴生小・中は兼務となっている。小野 田小学校は一人配置だったが、欠員が出て公募していたがなかなか見当 たらないため、年度末まで小野田中学校の方に兼務していただいている。
- 麻野学校教育課主幹 学校司書の予算は、人事課算定により、社会保険料など を含めて3,537万5,000円。人員は、任期付きが二人で臨時が 14人、計16人である。
- 高松秀樹委員 学校司書を減らして手薄だったALTと学校業務支援員を増員 していきたいということだが、学校業務支援員は公務員なのか。
- 三輪学校教育課長 先生が、授業中や児童・生徒の下校後、教材研究ができる時間を確保するために、授業へ向けてのプリント作成や印刷など、担任でなくてもできるような業務をしてもらう。
- 髙松秀樹委員 ALTは何名いて、今後これをどうする予定なのか。
- 三輪学校教育課長 今年度まで3名配置している。次年度以降は5名程度、つまり2名の増員を考えている。

- 河野朋子委員長 ALTの勤務時間等について、他市町との比較はできるか。 学校業務支援員も。
- 麻野学校教育課主幹 ALTは、今年度山陽小野田市が3人配置で、宇部市は 12人と聞いている。計算するとALT一人当たり、宇部市は41.7 クラス、山陽小野田市は一人で74.3クラスを受け持つことになる。 支援員についてはまだ調査していない。
- 森山喜久委員 学校業務支援員の県内の配置状況はどうなのか。また、なぜ本 市は配置していないのか。
- 三輪学校教育課長 今年度配置している市は、岩国市など9市。本市は、今年度の他市町の状況を確認してからと考えていた。他市町によると先生方の負担が軽減されているようなので、是非配置をと考えている。
- 森山喜久委員 学校業務支援員については、どのぐらい増員する予定か。
- 三輪学校教育課長 まずは大きい学校を優先的に、市内1小学校4中学校の5 校で配置を考えている。
- 宮本政志委員 先生方に司書教諭として学校司書の代わりをしてもらうような 負担を掛けることはないか。
- 三輪学校教育課長 一つの学校に来られる学校司書さんの時間数が減るため、 今までと全く同じようにはいかないかもしれないが、工夫の仕方により、 負担を掛けるようなことは余りないだろうと考えている。
- 宮本政志委員 司書を減らしていくことや司書教諭の関係を校長会で話したり、 校長先生や教頭先生といった現場の声をしっかり調査されたりしたか。
- 宮内教育長 ほとんどの校長へ私が個別に聞いている。それを踏まえて全体の 校長会で説明して、校長先生方から御理解をいただいている。
- 笹木慶之委員 公務員制度を廃止した理由とALTや学校業務支援員を置くことの整合性はどうなのか。次に、定数管理上どのように考えているか。 三つ目、制度を作るには規定等を完備し、業務が明記されないといけないと思うがどうなっているのか。
- 尾山教育部長 新たな課題への対応が必要になってきたため、司書の方に少し しわ寄せが行くが、英語の学習の充実や教員の時間外勤務の削減を図り たいということである。定数管理上の問題は、来年度の任期付きの学校

- 司書は二人なので、条例上はクリアしている。規定は他市を参考にしな がら作っていく。
- 三輪学校教育課長 補足で、学校業務支援員配置事業は県の補助事業である。
- 三輪学校教育課長 2分の1である。

笹木慶之委員 補助率はどのくらいか。

- 笹木慶之委員 事務分掌上、これ以外の業務はさせないということか。きちんとしないと、当初の目的が達成できないと思うが。
- 三輪学校教育課長 煮詰めていきたいが、基本的にはそのとおりである。
- 伊場勇副委員長 今まで働いていた方は、図書の関係でしっかり子供たちと触れ合い、教育に関するスキルが上がっていると思う。その方々の有効活用、活躍の場の提供といった考えはあるか。
- 宮内教育長 任期満了によるものなので、そこまで干渉はできないが、是非、 教員の非常勤講師あるいは臨時採用で、また活躍していただきたい。
- 長谷川知司委員 学校司書削減によるフォローをどう考えているか。コミュニ ティ・スクールの人たちの中で、学校司書の手伝いができるか検討して はどうか。
- 宮内教育長 現時点でもたくさんのボランティアに入っていただいているので、 これからも更に充実させていきたいと思っている。
- 河野朋子委員長 これまで、学校図書室は子供たちの登校から下校時まで開いていたのか。
- 宮内教育長 今は朝から夕方までいつも司書さんがおられるので、そういうことである。
- 河野朋子委員長 文部科学省からの子供の読書活動についての基本的な計画に おいては、学校になじめない子供たちの第2の保健室として、登校時か ら下校時まで開館することが重要であるということだったが、2校に1 校となったときに、本当にそれが可能なのか。
- 宮内教育長 学校によっては事情も規模も違うので、学校長の判断で決めても らいたいと思っている。希望としては、なるべく現状維持できるようボ ランティアさんに入っていただきたいと思っている。
- 森山喜久委員 学校図書館法改正に伴う衆議院での附帯決議では、現在の配置

水準が下がらないように留意しとあったが、どう考えているのか。

- 宮内教育長 本市の配置水準は全国トップレベルだと思う。国の地方交付税措置の3倍の措置を行っているが、2校兼務にしても交付税措置の1.5 倍で、県内においてトップであることには変わらないと考えている。
- 森山喜久委員 トップレベルになっているところをわざわざ下げる必要はない のではないか。それを維持しつつALTや業務支援員を底上げするとい う協議を、財政課や企画政策課とできなかったのか。
- 宮内教育長 埴生小・中学校が統合するので、それを見越して学校司書を一人 削減し、厳しい財政状況の中、前々から要望していたALTを一人増員 している。そういった努力はしている。
- 河野朋子委員長 2 校でも良かったということは、交付税措置の3倍もの費用 を掛けて全校配置した時点での政策の判断を全否定した印象を受ける。
- 宮内教育長 今と学校司書を配置した当初とは状況が全く違う。学校司書を全校配置したことで学校図書館の図書は整理、充実され、その中で学校司書がやるべき業務も定着化してきたため、2校兼務でできると判断した。
- 森山喜久委員 図書機能を充実させるために、公務員制度を廃止することが主 目的だったということか。
- 尾山教育部長 財源を確保する上で、総合的に見て公務員のところを削減した。 全体として新しい形で学校図書館を充実させたいということになったと 認識している。
- 森山喜久委員 平成32年4月から会計年度任用職員の配置に伴い、条例を制 定するという総務部長の答弁があったと思うが。
- 尾山教育部長 会計年度任用職員については、平成32年4月1日からの運用 開始になっているので、総務部でこの制度化について調整すると思うが、 万全の態勢でその日を迎えたい。恐らく、学校業務支援員も会計年度任 用職員に切り替わるものと推測している。

【結果】

・今後、この事業について予算でも審査があると思われるので、そのときにま たしっかりと審議していくこととなった。

午前11時18分 散会

平成31年(2019年)2月4日

総務文教常任委員長 河 野 朋 子